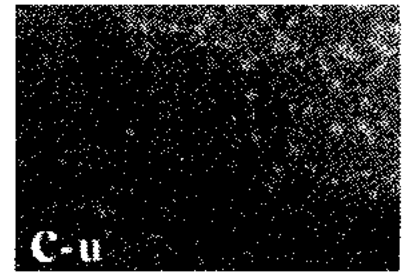
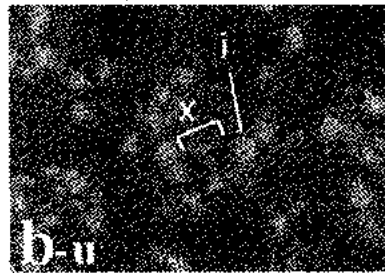
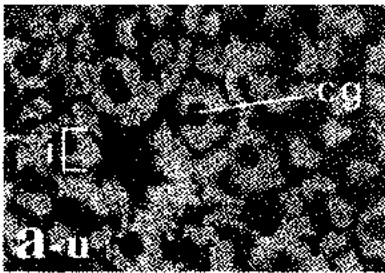
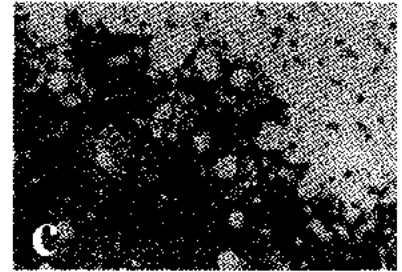
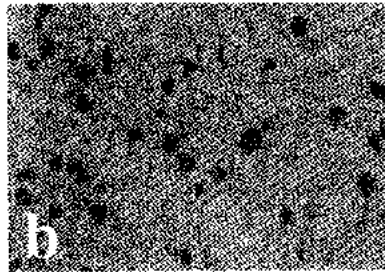
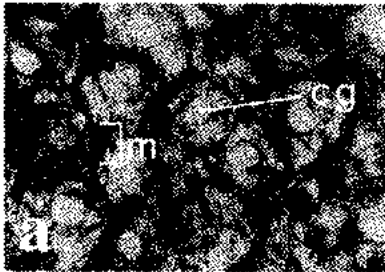


野生型

白色型



背面



横断面

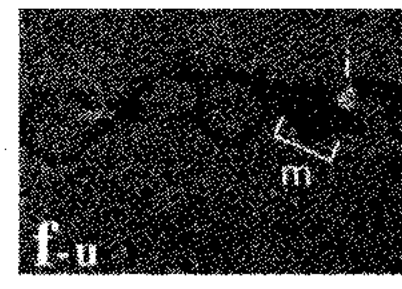
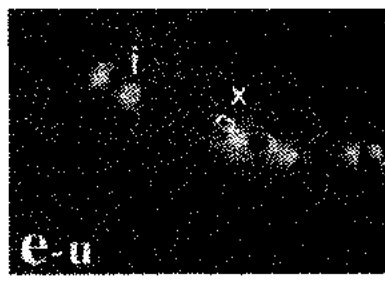
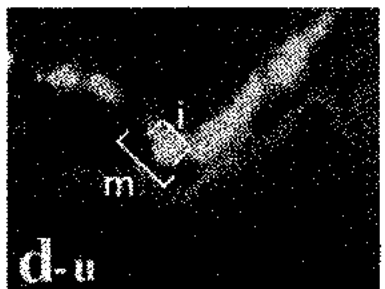
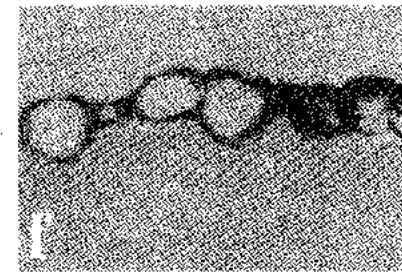
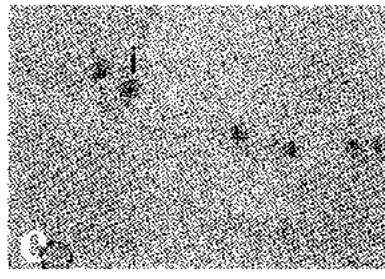


図2 ヌマガエル正常及び白色個体の色素細胞

a~b は背面から、d~f は横断面からの観察。-u は UV 反射光による観察。
m 黒色素胞、x 黄色素胞、i 虹色素胞、cg 皮膚腺

した奇形ウシガエル 6 例について報告する
(図 1、2)。

①奇形ウシガエルの発生場所と異常部

和名：ウシガエル

種名：*Rana catesbeiana*

(1)

採集年月日：1999 年 11 月 10 日

採集場所：埼玉県久喜市

異常肢の位置：左後短肢

(2)

採集年月日：1999 年 11 月 12 日

採集場所：茨城県麻生町

異常肢の位置：4 肢指異常

(3)

採集年月日：1999 年 11 月 19 日

採集場所：茨城県桜川村

異常肢の位置：右前短肢

(4)

採集年月日：1999 年 12 月 5 日

採集場所：千葉県久喜市

異常肢の位置：左右後肢指欠損

(5)

採集年月日：1999 年 1 月 30 日

採集場所：茨城県霞ヶ浦町

異常肢の位置：右前短肢

(6)

採集年月日：1999 年 2 月 2 日

採集場所：茨城県土浦市

異常肢の位置：右後 2 本肢

②今後の展望

短期間ではあるが 6 例の奇形肢ウシガエルを捕獲した。この結果から推測すると全国では無視できない数の奇形ウシガエルが出現しているものと思われ、早急に全国規模の実態調査を行う必要があると結論するに至った。

(4) 北陸・東海地方

今回の報告では、静岡地区、愛知・岐阜地区、および新潟県越後早川のイモリの生息、個体数、奇形個体の有無についての調査の中間結果をしたい。調査予定であった、群馬県沼田地区については、今後すぐに調査を実施

するつもりである。

①調査地区と結果

1) 静岡地区

本調査では、静岡県の伊豆から駿河、遠州および天竜にかけての 16 地点における、両生類の生息分布および奇形個体の有無の確認を行った。

(a) 環境庁メッシュマップ番号：5237-0731

磐田市近郊を流れる太田川水系の古川から水を引いた水路がある。この水路は魚のカワバタモロコ（コイ科も淡水魚で、静岡を東限）が生息していた場所の代替地として造成されたもので、流れもゆるやかで、保護池となっている。この池の周辺にはトノサマガエルが 80 匹、ニホンアマガエルが 100 匹確認されたが、観察時にはトノサマガエルは草刈りや工事のため古い水路にしか姿が見られなくなった。また、ニホンアマガエルのほとんどは、水路の周辺の草むら、田圃に生息していた。池の中には、多数のウシガエルのオタマジャクシがいた。成体は 4、5 匹ほどしか観察されなかったが、繁殖期にはうろさいほどに鳴き声が聞こえるので、数多く生息していると推定される。この池で採取したオタマジャクシの中に、見られるような両側の後肢の先が欠損している個体が発見された（図 1）。

(b) 環境庁メッシュマップ番号：5237-0780
- 0781

磐田市内桶谷沼での調査では、ヌマガエルとニホンアマガエルが確認できた。捕獲数は僅かであったが、鳴き声から推定するとかなりの数が生息していると思われる。

(c) 環境庁メッシュマップ番号：5237-0480

湖西市神座地区の神座神社前の水路は草が生い茂りカエルの生息に適した場所である。この地域ではダルマガエルとニホンアマガエルをそれぞれ 10 匹捕獲した。ダルマガエルは捕獲が難しく、その姿を見つけるのが容易でないが、まだ多数生息していると思われる。

表1 過剰肢を持つカエル類の日本での発見例

和名	種名	個体数	採集年月日	採集場所	過剰肢の位置と数	文献
アオガエル属(?)	<i>Rhacophorus</i> (?)	1	1928.08.07	青森県弘前市	左後肢2本、幼生	根岸(1935)
ヤマアカガエル	<i>Rana ornativentris</i>	1	1928.08.	青森県弘前市(?)	右前肢1本、雌、SVL約67mm	同上
ニホンアマガエル	<i>Hyla japonica</i>	1	1928.10.05	青森県東津軽郡平舘村	左前肢1本、SVL約19mm	同上
トノサマガエル	<i>Rana nigromaculata</i>	1	1931.10.	岩手県膽沢郡佐倉河村	左後肢1本、雌、SVL約28mm	同上
ニホンアカガエル	<i>Rana japonica japonica</i>	1	1938.10.	千葉県君津郡中村	右後肢2本、SVL約30mm	白井(1940)
ウシガエル	<i>Rana catesbeiana</i>	1	1949.12.05	愛知県春日井市	後肢3本、変態完了直前、SVL47mm	岡島(1951)
モリアオガエル	<i>Rhacophorus arboreus</i>	1	1954(?)	新潟県新潟市	左前肢1本、雄、SVL58mm	佐々木・鈴木(1954)
アズマヒキガエル	<i>Bufo japonicus formosus</i>	1	1956(?)	新潟県北蒲原郡水原町	左前肢1本、雄、SVL112mm	佐藤(1956)
トノサマガエル	<i>Rana nigromaculata</i>	1	1956.10.	新潟県新潟市	右後肢1本、雄、SVL21.4mm	佐々木(1957)
トウキョウダルマガエル	<i>Rana porosa porosa</i>	1	1961.06.02	東京都江戸川区葛西	左前肢1本、SVL約90mm	青木(1962)
ヌマガエル	<i>Rana limnocharis limnocharis</i>	1	1963.06.	愛知県知多郡阿久比町	左後肢1本	新美(1965)
ウシガエル	<i>Rana catesbeiana</i>	1	1964.05.	愛知県知多郡阿久比町	右前肢1本	同上
ウシガエル	<i>Rana catesbeiana</i>	1	1966.05.17	香川県	後肢2本	立石(1967)
ウシガエル	<i>Rana catesbeiana</i>	1	1966.09.	愛知県半田市乙川浜側町	右前肢1本	新美(1969)
(ヌマガエルの1種?)		1	1967.05.	沖縄県具志川市具志川	後肢7本(左2本、右5本)	琉球新報(1968.08.02)
ウシガエル	<i>Rana catesbeiana</i>	1	1967.08.15	愛知県刈谷市	左後肢2本	新美(1969)
ウシガエル	<i>Rana catesbeiana</i>	2	1967.10.08	愛知県半田市長根町	2匹とも過剰後肢左右各1本、幼生	同上
ヌマガエル	<i>Rana limnocharis limnocharis</i>	1	1971.08.	愛知県中島郡祖父江町	左前肢2本、雄、SVL44mm	新美(1971)
ウシガエル	<i>Rana catesbeiana</i>	2	1973.06.	千葉県市川市	後肢1本(左と右)、変態完了直前	和爾(1978)
トノサマガエル	<i>Rana nigromaculata</i>	1	1973.09.13	兵庫県豊岡市岩熊	右前肢1本、SVL45mm	長谷川(1974)
アズマヒキガエル	<i>Bufo japonicus formosus</i>	1	1974.05.25	千葉県市川市	右後肢2本、幼生	和爾(1978)
シュレーゲルアオガエル	<i>Rhacophorus schlegelii</i>	1	1980.05.	新潟県	右後肢1本、変態完了直前	杵渕(1981)
ニホンアマガエル	<i>Hyla japonica</i>	1	1980.07.14	富山県富山市五福	右前肢1本	南部(私信)
トノサマガエル	<i>Rana nigromaculata</i>	1	1982.06.29	新潟県北蒲原郡加治川村	左前肢1本、2年目の雌、SVL45.3mm	高須(1982)
ニホンアマガエル	<i>Hyla japonica</i>	1	1992.8.23	愛媛県上浮穴郡小田町	右前肢1本、SVL27.5mm	岡山(1995)
ウシガエル	<i>Rana catesbeiana</i>	1	1993.05.22	埼玉県越谷市	後肢1本、幼体	朝日新聞(1993.05.27)
ヤマアカガエル	<i>Rana ornativentris</i>	8	1995.06.	福岡県北九州市山田緑地	前肢1~2本、幼体	武石(1996)
ヤマアカガエル	<i>Rana ornativentris</i>	91	1996.05.	同上	前肢1~3本(90匹)、後肢1本(1匹)、幼体	武石
ニホンヒキガエル	<i>Bufo japonicus japonicus</i>	1	1996.05.17	同上	後肢1本、幼体	同上
ヤマアカガエル	<i>Rana ornativentris</i>	2	1997.05.	同上	前肢、幼体	同上
ヤマアカガエル	<i>Rana ornativentris</i>	90	1998.05.	同上	前肢、幼体	同上